

マリレジャー=安全レポート

第七管区海上保安本部
マリレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan-7@kaiho.mlit.go.jp

第22号(平成19年4月・5月合併号)



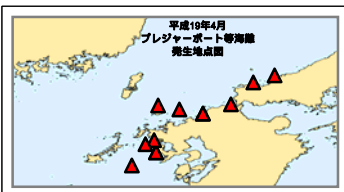
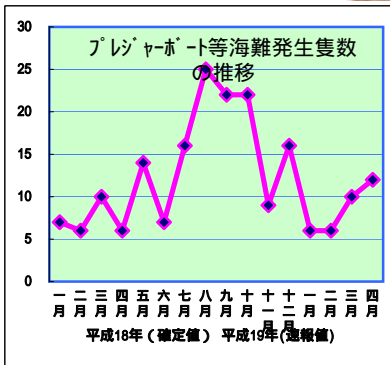
気象・海象に対する判断の誤り

3月31日午後5時ころ、大分県佐賀関町で海岸から手漕ぎゴムボートで沖合いの岩場に一人で渡り、魚釣りをしていたが、干潮に合わせて帰る予定としていたところ、風浪が強まり岩場に波が打ち寄せ始めたため、ゴムボートを岩場から下ろして海岸に戻ろうとしたものの、風浪と激しい磯波によりゴムボートに移乗できず、118番で海上保安庁に救助要請する事案がありました。その後、巡視艇が到着し、2メートルを超える風浪と磯波の中、孤立した該人を救助しました。

平成19年3月 プレジャーボート等 海難発生隻数	平成19年4月 プレジャーボート等 海難発生隻数
合計 10隻	合計 12隻
衝突 1	衝突 5
乗揚 0	乗揚 0
転覆 2	転覆 0
浸水 1	浸水 0
推進器障害 1	推進器障害 3
舵障害 0	舵障害 1
機関故障 4	機関故障 3
火災 0	火災 0
爆発 0	爆発 0
行方不明 0	行方不明 0
運航阻害 1	運航阻害 0
安全阻害 0	安全阻害 0
その他 0	その他 0



～事故からの教訓～
沖合いの岩場や沿岸の磯場においては、常に孤立する危険性を考慮した慎重な判断が必要で気象予報の確認と風浪等の状況を見て、早期に撤収することが必要です。



プレジャーボート事件事例

3月20日午前8時ころ、平戸市下枯木島沖合いで、3人乗りプレジャーボートが遊漁中に風が強くなり、波も高くなったことにより船内に海水が入り、水船状態となった後、横転転覆しました。乗船していた3人は、下枯木島に泳ぎ着き、118番通報し、巡視艇に救助されました。

小型船舶の機関取り扱い～シリーズ

機関の故障や整備不良による海難が急増

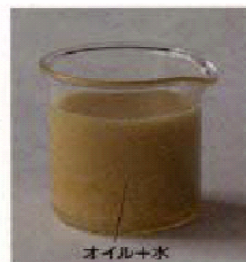
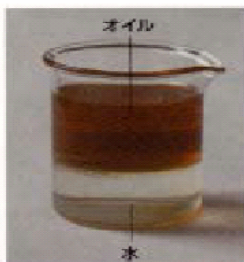
Q オイルが白くなった!なぜ? →A 水がオイルに混入したためです

原因1 結露水のオイルへの混入

低速運転・短時間運転でブロアバイガス中の水分が結露水となり、オイルに混入することがあります。この場合、エンジン温度の上昇とともに蒸発するので、異常ではありません。

原因2 海水の混入

ガスケットの損傷やオイルパンの腐食の発生によって海水がオイルに混入した場合は、点検、整備が必要となります。



攪拌すると

- ◇ 排気・冷却水通路の分解整備を、決められた時間で行ってください。
- ◇ 海水がオイルパンに入った場合は、エンジンと排気経路の分解整備を行ってください。
- ◇ オーバーヒート等の故障が発生した際にも、必ずエンジンと排気経路の分解整備を行ってください。



気象庁の発表する台風情報が、見やすく、詳しくなりました。

マリレジャーを楽しむ方のみならず、ほとんどの人は夏になると台風情報に関心が集まると思います。気象庁では、平成19年4月18日以降に新たに発生する台風に対して以下のように台風情報を充実させています。

- 1 日本付近では、24時間先までを3時間刻みに予報
- 2 台風の強さの目安として最大瞬間風速の情報を追加
- 3 熱帯低気圧に関する情報を充実
- 4 温帯低気圧に変わりつつある台風に関する情報を充実
- 5 暴風域に入る確率の分布図を発表

また、気象庁ホームページ等における台風の進路予報の図表示もより分かりやすくなるように変更しています。

- 1 予報期間の暴風警戒域全体を囲む線を表示
- 2 予報円の中心の点やそれを結ぶ線を表示

詳しくは気象庁、管区気象台又は地方気象台のホームページ等で確認してください。

台風予報が見やすくなります

2007年4月から

予報円

暴風警戒域

強風域

予報期間の暴風警戒域全体を囲む線

2007年3月まで

各予報時刻の暴風警戒域の内

各予報時刻の暴風警戒域の内

暴風警戒域に入る地域が見やすくなるように、各予報時刻の暴風警戒域の内全体を囲む線を表示します。

気象庁ホームページ

台風予報が詳しくなります

2007年4月から

24時間先まで3時間刻みの予報

2007年3月まで

12時間予報と24時間予報

台風がいつ、どこに進むかわかりやすくなるように、3時間刻みの予報を24時間先まで発表します。

船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則の改正で、平成20年4月より、下記のとおりとなります！

ライフジャケット着用義務対象者

現行	平成20年4月1日より
漁船へのひとり乗り 航行・漁ろう中で 連絡手段を確保して いない場合	漁船へのひとり乗り 航行・漁ろう中の場合
※ 違反の場合、6ヶ月以内の免許停止等の処分の対象	※ 違反の場合、6ヶ月以内の免許停止等の処分の対象

なお、上記以外の場合についても、ライフジャケットの着用に努めてください。

いろいろな種類のライフジャケットがあります。漁ろうの種類に応じた、適切なライフジャケットを選びましょう！

膨張式

筒形式浮力体を用了フード付防水防風型

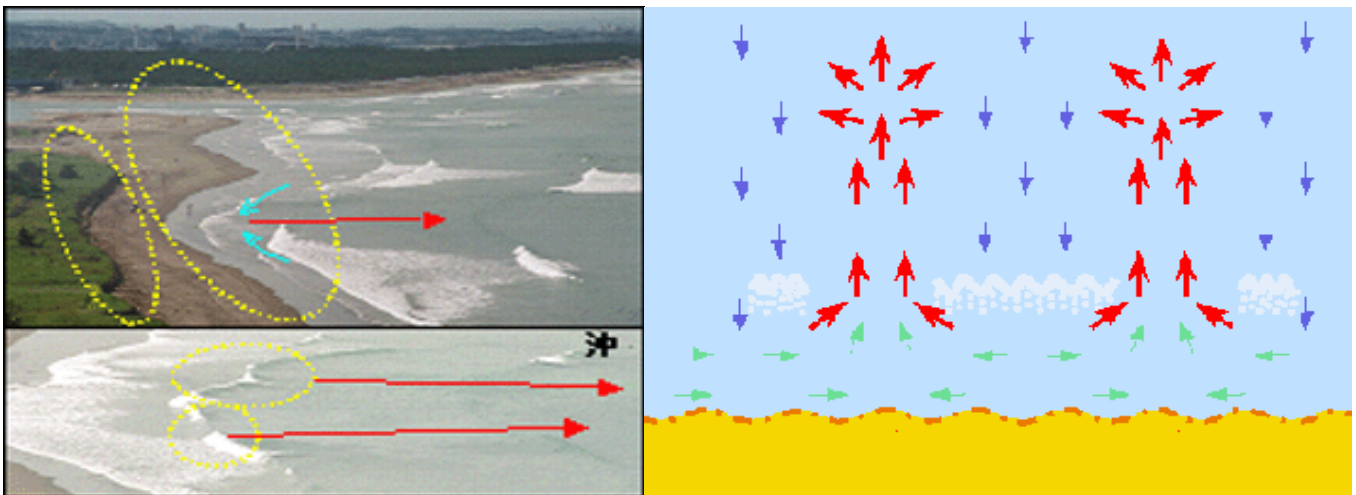
視認性高と空気密閉式浮力体の射用型

離岸流を探してみよう

海水浴中に沖への強い流れに流されて溺れる、という海難事故が発生します。そういうところでは離岸流やリップカレントとよばれる岸から沖への流れが発生している可能性があります。場所によって強い流れになるため、流れに乗ると逆らって泳ぐことはとても困難です。一般的には、遠浅の砂浜で起こりやすいといわれていますが、いつでも起こっているわけではなく、場所も変わることがあります。そんな手ごわい離岸流ですが、海面をよく見て探してみましょ。

こんなところに！離岸流

海岸線や陸地の地形がでこぼこしている所で波が砕けない場所を観察してみましょ。そこは水深が深くなっていて、離岸流が発生している可能性があります。また、ゴミが集まっていたり、離岸流により砂が沖まで流されて濁っていることがあります。近くの小高い丘や砂丘の上、とにかく高いところから眺めるのがコツですが、見つけられるでしょうか？



沖に流されて、岸に必死で帰ろうと離岸流に逆らって泳ぐと、体力を消耗し岸に戻れなくなることがあります。流された場合、まずは海岸と平行に泳ぎ離岸流から抜けることが肝心です。一番大事なのは決してパニックに陥らないこと！泳ぎが得意でない人も、慌てず、落ち着いて、流れが弱くなるまで待って、救助を待ちましょ。